

2022～2023年度 小倉中央ロータリークラブ週報



例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

第1303回 本日の例会 6月12日(月)
 本日の卓話 「社会奉仕活動について」
 第2700地区社会奉仕委員会 熊手幹彦委員長

会長の時間（6月5日 1302回 例会記録） 林田会長

出席報告 6月5日

最近起きた悲慘な事件について思うこと

近頃思いもかけない悲慘な事件が多く起こっています。決して人を殺すような環境に育ったわけでもないし、あんないい人が、あんな恵まれた人が何故？という事件が多いと思います。あんな立派な家庭で、あんな立派な父親で、という事が多いです。大体、親はやり手のリーダー格の人なんて言われますが、私も息子を育てるとき、それに近い思いはありました。

私の家は、女、男、女の三人の子供がいるんですが、この男の子がおとなしく、真面目で口数も少なく姉と妹の間に挟まれて育ちましたのでごく優しい何かがあっても自分を抑え反抗することもなく母親思いの性格でした。また、辛抱よく感情を表にあらわす事はありませんでした。

私の主人はご存知の方も多いと思いますが、どちらかというと、人の上に立つリーダー格で男気のある人で、何事も自分の思い通りにやって、まあまあ外から見れば立派に見えたと思います。

息子が高校生になった時に私は思いました。男の子は一人だし、跡を継いでもらいたいという思いはありました。でも、この子の性格からすると、このまま行ったら、いつか潰される。自分の思いを抑え込んだ人生になってしまいそうに思いました。内にこもった人生を送ることになるんだったら、別の道を歩かせる方が良くと思って技術が身に付く医者にすることにしました。今になって思えば、これでよかったのかな、と思います。

また、お姉ちゃんが面白いことを言っていました。人間についてマウスを使って研究した人がいるんだそうです。好環境を作ってマウスを育てたそうです。女、XXの染色体、男、XYの染色体のうち、この環境で育ったマウスたちは、X遺伝子はますます丈夫になっていき、Y遺伝子は少しずつ壊れていくんだそうです。広い棲みやすいスペースを作ってマウスを飼うとX Yの遺伝子を持った雄のマウスは1匹が力を持ってその周りに複数の雌のマウスを集めてハーレムを作り、その他の雄のマウスは、はじき出されるそうです。でも、ハーレムの雄も早死にしてしまうんだそうです。だんだん雄が減っていき、最後は全滅してしまうんだそうです。

今何とか手を打たないと人間社会も同様なことが起きるんじゃないかと、その研究者は言ったそうですが。

手を打つとは、何をしたらいいんでしょうね。

在籍会員数	44名
義務出席者	41名
ゲスト	2名
ビジター	0名
本日出席数	35名
本日出席率	85.36%
前々回修正出席率	95.45%

次回の例会は、6月19日(月)

クラブ協議会
「下半期活動報告」

6月のお誕生日

11日 鎌水 裕介 会員
 16日 池浦 泰徳 会員
 24日 上田 泰博 会員

今月の主な予定

5日(月) 定例理事会
 9日(金) 地区広報・公共イメージ
向上委員会
 12日(月) 次年度理事会
 14日(水) 二水会
 24日(土) I A 校内例会

幹事報告

古川幹事

- ・1月に開催されたIMの報告書（DVD）が届いておりますので、お持ち帰りください。
- ・今期、委員長の皆さんアハは、報告書の提出をお願いします。クラブ協議会は、6月19日(月)です。

ニコニコ献金報告

累計 626,450円

- 林田・古川・野口会員—①林社長様、本日は、快く卓話をお引き受け頂きありがとうございます。宜しくお願い致します。
- ②樋口社長様、本日はお越し頂き、ありがとうございます。是非、前向きにご検討ください。
- 長戸会員—林様、本日は卓話を引き受けて頂き、ありがとうございます。楽しみにしています。
- 原田会員—コンピューターサイエンス研究所、林社長様、大変お世話になりました。本日の卓話を楽しみにしていました。本日小倉中央RCに来ていただき、ありがとうございます。
- 大久保会員—林様、随分とお久しぶりです。
卓話楽しみにしています。
- 鈴川会員—先週、法人会の総会を終えることができました。心新たに奉仕の精神で仕事します。
- 上田会員—先週のロータリークイズで2つも賞をいただきました。ありがとうございました。（新人なのにすみません。）
- 梶原会員—先週の金曜日、車のトリップメーター（走行距離）が77777kmになりました。それだけです(へ-へ；
合計 15,000円



祝誕生日祝い— 池浦泰徳会員

上田泰博会員（今月24日で古希を迎えます。
あと少し現役で頑張ります。）



卓話の時間

「夢をあきらめない ～A Iを使った新規事業に挑む～」

(株)コンピューターサイエンス研究所

代表取締役 林 秀美氏

今から42年前、人手に頼っていた住宅地図帳の制作に限界を感じていたゼンリンでは地図のDX（デジタル化）の開発を開始した。

大迫忍社長の下で、地図のデジタル化にはじまり、カーナビ地図の開発、携帯マップの開発などに従事してきた。開発を始める際に、社長の「大迫忍は、幹部役員に対して「若い担当者に任せるので口を出すな」と厳命、また担当者には「相談するな、予算は無制限で」と指示。さらにこれを進めるにあたり3つ問題があるとして、「何が問題なのか」を担当者に考えさせようとした。

地図のデジタル化はゼンリンのビジネス変革を産み、カーナビゲーション地図の開発にも取り組むきっかけとなった。

63歳でゼンリン関係の役職を退任する事が決まった時、小学校の2年先輩にあたる現吉野家安部会長から「林ちゃん、還暦がくさ、72歳に変わったっえ。俺も72歳まで働けん、あんたも72歳まで仕事しやい。」と言われ「10年もあれば、やり残したことに再度、挑戦できる」と2015年に会社を立ち上げ、ゼンリン時代に実現できなかった二つの事に取り組む。ナイトライダーを実現する「自然言語処理技術」の開発と視覚障がい者の歩行支援をおこなう「ロボット盲導犬」の開発である。

自然言語処理技術については、未だグーグルやアップルでさえ実現できていない技術であり、早々の実現は難しい。

「ロボット盲導犬」については、スマートフォンだけで道案内と障害物の警告をおこなう視覚障がい者歩行支援アプリを開発。本年4月より無償でサービスを開始した。ユーザー数は7000人を超え、多くの視覚障がい者方たちの評価を得ている。

「視覚障害を持つ方の安心安全な歩行を支援し、誰もがどこへでも不自由なく移動できる社会を実現する」ことを事業ビジョンとして今後も新たな開発に挑戦していきたい。

夢を実現するためには十年後の未来を想像すること。そしてもっと大事なことは、「最後まであきらめない！できるまでやる」という意志を持ち続ければ夢はいつか実現する」

